

ワークショップシリーズ ブレーシングウォール 10平米以上 ガイドライン（仕様説明書）

1：計画

接地位置の地域性（地盤特性：積雪量と多雪地域の確認、標準風速（ v_0 ）を調査の上、風の影響度を最小限にする為に遮蔽部を含めた設置位置を十分に検討して下さい。

耐雪オプションにおける一般地域とは、建築基準法施工令第86条2項及び3項による多雪地域以外の地域です。ご購入前に各市町村に確認をお願い致します。

又、必要な構造計算を行い、安全を確認してください。木構造部の積雪仕様は各図面を参照してください。ABSCO社の耐風性能は33m/secとなります。AS(オーストラリアスタンダード)を参考にした風速査定の方法はユーロ物置ハンドブックに記載されていますので参照してください。遮蔽物などを考慮して強風時の対策について使用者とドアの方向を含め十分協議して下さい。

2：構造方法

木造枠組み壁工法とし、国土交通省 告示1540号（令和2年8月28日）と国土交通省1541号（令和2年8月28日）、その他法律により施工します。壁せん断力は筋交いのユニットで負担しますが、筋交いのユニット部分に石膏ボードを加えることや構造用ベニアに変えて所要耐力に対応させることも可能です。都度設置地域の水平力を吟味して設置してください。開口部まぐさは告示1540-5-13 但し書きによります。（ラフター配置を考慮した屋根水平構面によります。）

3：張壁（ABSCO KITパネルの固定）

ABSCO 10平米以上の物置のジंकロームメッキ処理、高張力鋼板(外装パネル)を屋根葺き材や外壁に使い、構造的には張壁と定義します。上記パネルの組立マニュアルを参照しながらスナップタイトにより鋼板の剛性を高めたパネルを組み合わせて組み立て、あらかじめ組立た木構造フレーム材に沿って設置組み立てを行います。

4：基礎

建築基準法施工令38条-4および建設省告示1347（平成12年5月23日）但し書きによります。図示アンカーボルトは（告示1540第10-2の構造計算によります）。

5：オプション

耐風に関するオプション内容は以下の通りです。

屋根部分：屋根下地木材見付幅38mm部分および屋根軒端のコロビ止材-見付幅38mmにパッキン付きビス（ダンバ6950PZM 若井産業相当品）を@148mmで設置します。

壁：D5L65mm以上の木下地用ビス（ダンバ69565TU 若井産業相当品）を使用します。

全ての上枠材(頭繋ぎ)と胴縁材に@148mmで設置します。

年 月 日

ご署名

印